

伊豆半島道路ネットワーク会議の成果（アウトプット）について

1 概要

伊豆半島道路ネットワーク会議設立の目的は「伊豆地域の持続的な発展に向け、伊豆縦貫自動車道を背骨として、肋骨となる国県道、幹線市町道を含む地域全体の道路網のあるべき姿を検討し、短期、中長期を見据えた実施計画を策定する」ことにあります。

これまでに開催された伊豆半島道路ネットワーク会議において、「伊豆半島道路ネットワークの利活用による地域活性化プロジェクトマップ」と「伊豆半島の道路網整備実施計画」以上2種類の成果を策定することを確認しています。

2 成果（アウトプット）

① 伊豆半島道路ネットワークの利活用による地域活性化プロジェクトマップ **資料 2**

- ・ **資料 2** は、概ね短中期（10 年程度まで）で実施、又は実施を予定している道路整備事業と官民の地域活性化の取組等を1枚の地図に記載したものです。
- ・ 伊豆縦貫自動車道を基軸とする伊豆地域の道路網整備のストック効果を示す資料として活用することを想定しています。
- ・ 道路整備事業としては、県及び市町が、国が整備を進める伊豆縦貫自動車道とともに地域の道路ネットワークを形成する道路の整備に取り組んでいる状況を記載しています。
- ・ 官民の地域活性化の取組等としては、観光、まちづくり、産業振興の視点から地域活性化に資する様々な事業や取組を記載しています。

② 伊豆半島の道路網整備実施計画（案）《伊豆半島道路網のあるべき姿》 **資料 3**

- ・ **資料 3** と **資料 4** をあわせて『伊豆半島の道路網整備実施計画』です。
- ・ **資料 3** には、短期（平成 32 年(2020)：東京五輪時点）、中長期（平成 30 年代(2018～)：概ね 10 年後、平成 40 年代(2028～)：概ね 20 年後）の各年代における道路網のあるべき姿を図示しています。
- ・ 国事業については、事業中の箇所は概ね 10 年で完成、計画段階評価中及び都市計画決定済み路線は概ね 20 年で完成予定と想定しています。
- ・ 県事業については、国事業の進捗にあわせ、概ね 20 年で事業予定箇所が完成すると想定しています。

③ 伊豆半島の道路網整備実施計画（案）《箇所図》 **資料 4**

- ・ **資料 4** は、今後事業が予想される箇所、概要を記載した『実施計画』の箇所図で、短期、中長期で実施を予定している主要な事業を位置付けています。
- ・ プロジェクトマップに記載する内容のバックデータにもなっています。